

http://www.kaiji-press.co.jp

2011年
8月12日(金)
13935号

KAIJI PRESS 海事プレス



**Leading Flag in Safety & Security
Full Service from LISCR JAPAN**

リスカジャパン株式会社
TEL:03-5419-7001 info@liscr.jp www.liscr-j.com



造船資機材のコストダウンに貢献

断熱材供給で中国と技術提携

■大晃産業、開発から生産まで一貫協力

造船用資機材の調達で、日本と中国のメーカーが共同で開発から試験、生産までを一貫して行う新しいビジネスモデルが実現した。広島県尾道市で船舶用防火扉などの機装品を手掛ける大晃産業(松本隆弘社長)は、船舶用の断熱材として使用されるロックウール(石綿)の生産で、中国・上海のABM社と技術提携。近く日本への供給を開始する。石綿は近年調達ソースを高コストの欧州メーカーか

らの輸入のみに頼らざるを得ない状況が続いており、造船所が対策を求めていた。新たなラインの構築で造船所のコスト削減に寄与するほか、ドル建てでの供給にも対応する。

>> 2ページ

HEAD LINES

日本産厚板価格 韓国で問題化

日本の鉄鋼会社による韓国への厚板輸出価格が日本国内価格よりも割安と韓国内で問題視。 >> 3ページ

マースクライン 改装で既存船大型化

マースクラインは8600 TEU型船16隻を改装し、コンテナ積載能力を1万TEUまで引き上げる。

>> 7ページ

日韓輸出運賃に下押し圧力 日本海側入超、全国に波及

日本発韓国向け海上コンテナ運賃に下押し圧力強まる。震災で日本海側の入超進行、全国に波及。 >> 5ページ

現代商船の現代重工外し 船価など実利を優先

現代商船が新造コンテナ船の発注先に現代重工グループではなく大宇造船海洋を選定し波紋を呼ぶ。 >> 8ページ

LNG輸送の新会社を検討 プルトミナとPLNが合弁

インドネシア・プルトミナとPLNがLNG輸送の新会社設立を検討。

>> 9ページ

<お知らせ>

きょう8月12日は当社夏季休業日です。このため、15日付は休刊とさせていただきます。

青灯

>> 6ページ

お粗末な円高対応

■全記事の目次は最終面■

船の安全と 海の環境を守る

FN TAPE 可燃油飛散防止テープ

SOLAS II-2/15.2.11改正並に鋼船規則 D編-1改正規則に合致する、巻くだけで機室内配管からの、可燃油飛散を完全に防止できる。

Class NK, ABS, LRS, BV, UL, GL, NV, RINA, KR, CCS規格認証取得済。
現在世界で唯一認められた、簡単施工の安価な製品。
特許：日、米、EU、台湾、韓国、中国、ノルウェー、取得済。



東京日進ジャバラ株式会社 TOKYO NISSHIN JABARA CO.,LTD.
TEL.(03)3252-2947 FAX.(03)3256-7827
http://www.green-tnj.co.jp e-mail: info@green-tnj.co.jp



世界で最も海の安全に貢献した商品として国連海事機関長官より授賞

断熱材供給で中国と技術提携

■大晃産業、開発から生産まで一貫協力

造船用資機材の調達で、日本と中国のメーカーが共同で開発から試験、生産までを一貫して行う新しいビジネスモデルが実現した。広島県尾道市で船舶用防火扉などの艤装品を手掛ける大晃産業(松本隆弘社長)は、船舶用の断熱材として使用されるロックウール(石綿)の生産で、中国・上海のABM社と技術提携。近く日本への供給を開始する。石綿は近年、調達ソースを高コストの欧州メーカーからの輸入のみに頼らざるを得ない状況が続いており、造船所が対策を求めている。新たなラインの構築で造船所のコスト削減に寄与するほか、ドル建てでの供給にも対応する。

船舶用の断熱材として使用される石綿は、厳密には石綿と岩綿に分かれており、石綿(アスベスト)に関しては微細なガラス素材が人体の健康に深刻な悪影響を及ぼすことから、使用が禁止されている。ロックウールはアスベストの代替材として広く使用されるようになった断熱材で、船舶にも多様な用途で使用されている。

ロックウールはミネラルウールとも呼ばれ、日本にも専門メーカーがあったが2009年に廃業。この結果、国内への供給は欧州1社、韓国2社の海外からに頼っている。中国ではABM(Shanghai Adbanced Building Materials Mineral Wool Factory)が手掛けているが、陸上の建築用がメインであり、船舶用はやはり欧州から購入していた。

防火扉内部の断熱材などでノウハウを持つ大晃産業によると、ロックウールは日本では密度が低く、軽量である欧州製が韓国製に比べ好まれている。大晃産業がABMと

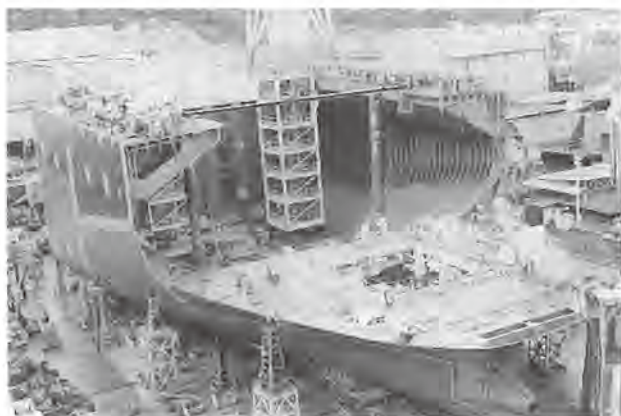
開発した「A60」は密度を低く、軽量に抑えた上で防熱性を確保しており、「FMR(Fire Marine Rockwool)」の製品名で船級協会の認証も取得している。

10月には船舶用のロックウールを上海で製造開始予定で、NK(日本海事協会)

へ申請、許可取得を見込んでいる。規格はNKのほかMED(欧州統一規格)に対応しており、JG(国土交通省)も取得する予定。

供給体制はコンテナによる造船所への直接販売を想定し、コストメリットを追求する構え。コストのドル化にも対応する方針だ。製造は中国だが、品質の保証は大晃産業が請け負う。

大晃産業は、ロックウールの新たな調達先を検討する造船所から相談を受け、調達先を探した結果、中国のABM社を船舶用のルール



造船資機材のコストダウンに貢献

に最適な素材を開発しうるメーカーとして、昨年、技術提携に至った。ABM社は中国国内の建築向け需要の増大を背景に業容を拡大する一方、新たな市場開拓を狙っていたが、大晃産業が日本総代理店となり、日本に拡販する案を提案。1年以上をかけて品質の安定化などの製品開発を推進した。同国で船舶用断熱材「A60」を開発、生産するのは初めてで、大晃産業は来年にも上海地区に営業拠点を設立する予定。

商船三井フェリー、ルームチャージ0円キャンペーン

商船三井フェリーは10月14日～12月22日の間、大洗/苫小牧航路の夕方便“さんふらわあ・さっぽろ”“さんふらわあ・ふらの”の2人定員のデラックスルーム洋室を1人で

利用する乗客を対象に、通常は別途必要となる船室貸切料金(大人運賃の半額1万750円)を無料とするキャンペーンを実施する。予約は船客予約センター(フリーコール:0120-

489850)で電話のみ受け付ける。携帯電話・PHS・IP電話からの予約は大洗船客予約センター(029-267-4133)、苫小牧船客予約センター(0144-34-3121)で受け付ける。